

2026年度 心不全理解のための臨床推論 ステップアップ講座<入門編>

心不全におけるフィジカルアセスメントの活用と妥当性検討

対面とZoomのハイブリット開催
臨床推論+心不全

日時 2026年4月26日(日)10:00~16:00

場所 本学愛学館A31講義室およびオンライン(Zoom)配信

定員 対面：100名 参加費 6,500円

認定単位 G24 3単位

申込受付 2026年2月25日(水)~4月13日(月)



生涯教育センター
webサイト
申込ページ

時間	プログラム
10:00-12:00	<p>【I】 フィジカルアセスメント総論 ~医師・看護師・薬剤師のフィジカルアセスメントの目的を知ろう~</p> <ul style="list-style-type: none">i) 臨床推論を進める上での「フィジカルアセスメント」の位置づけ各職種の臨床推論における判断ツールとしてのフィジカルアセスメントii) 医師のフィジカルアセスメント 病態把握のための問診の仕方とポイントiii) 看護師のフィジカルアセスメント 全人的に捉えた情報の臨床推論への活用iv) 薬剤師のフィジカルアセスメント 薬の適正使用につながるフィジカルアセスメントv) フィジカルアセスメントのまとめ 多職種の共通言語「フィジカルアセスメント」を薬剤師も行おう
12:00-12:45	昼食休憩
12:45-14:15	<p>【II】 臨床推論に活用できる基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none">i) 病態生理から明らかにする「血圧・循環・脱水・浮腫」ii) 実施の症例では「循環動態」をどうイメージするかiii) 医師はこう考える「症候学の理論」iv) 看護師はどこに注目する「よくみる症候に対する看護」
14:15-14:25	休憩
14:25-15:50	<p>【III】 事例で学ぶ臨床推論 ~問診から段階を踏んだアセスメント演習~</p> <p>症例「心不全」</p>
15:50-16:00	講評、全体を通しての質問

※プログラム内容は変更される場合があります。

JCHO京都鞍馬口医療センター
学校法人京都育英館京都看護大学
医療法人橘会 東住吉森本病院
京都薬科大学 病態生理学分野
京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター

統括診療部長 血液内科 医師
講師／がん看護専門看護師
薬剤部 臨床薬剤科 薬剤師
准教授／医師
講師／薬剤師／救急救命士

端田 真一 先生
門田 典子 先生
佐古 守人 先生
細木 誠之 先生
今西 孝至 先生

